【資料第13号】

基本構想実現度評価に係る区民委員事前質問及び回答一覧

１　「子育て・教育」分野

分野	質問者	No.	質　問	回　答
教育	杉本委員	1	幼稚園のことでおたづねします。 区の公立幼稚園は４才児・５才児の二年保育ですが、私立は３才児もあり三年保育をしています。 なぜ区は三年保育に広げないのですか？ また二年保育を守り保つ理由が何かあるのですか？	幼稚園の三年保育につきましては、私立幼稚園に対する影響を考慮しながら、区内のバランス等を勘案し、６園で実施しています。 なお、現在、実施していない４園につきましては、利用可能なスペースを使用し、今後、３歳児を中心に定員の拡充を図ってまいります。
青少年の健全育成	牛嶋委員	2	④　自立のきっかけづくり 青少年プラザの開館は非常にありがたいのですが、今後の課題として地域の偏在をどのように是正していくのか、計画等があればお示し下さい。	青少年プラザをより多くの中高生にご利用いただくことを目的に、青少年プラザの疑似体験が出来る出張事業の実施を検討しています。また、施設から距離がある中高生にも足を運びたいと思える魅力的な施設運営を展開してまいります。

２　「福祉・健康」分野

分野	質問者	No.	質　問	回　答
高齢者福祉	牛嶋委員	3	③　住み慣れた地域での生活支援の継続の支援 サービスの定員が27年度・28年度で横ばいとなっていますが、今後も高齢者の人口は毎年、増えて行くものと思います。よって定員も毎年整備していってニーズに答えるべきではないかと考えますが、28年度も一定の定員の増加は必要と考えますが区のお考えをお示し下さい。	指標の人数は、計画策定時点での各施設の想定人数を年度別に集計したものです。28年度は新規に開設を迎える予定の施設がなかったために27年度と同人数の想定となっていますが、29年度には、公有地を活用した施設の開設による定員増を見込んでおります。
	大矢委員	4	小学校でお話会をやってきた母達が、パネルシアターや音響を使った読み聞かせをやる場所を、子供の卒業と共に探しています。ミドル・シニアのボランティアが足りない場合はホームへの参加も良いのではないかと思います。他にコーラスもそういった場所を求めています。区の方でそういった橋渡し役をして頂けたら、また広がりがあるかもしれません。	お母さまが小学校で行ってきた様々な活動が、お子さまの卒業とともに活動場所がなくなっていることについて、高齢者施設も活動場所として区としてコーディネートしていただきたいとのことですが、文京区社会福祉協議会（文京ボランティア・市民活動推進センター）においてコーディネートを行っておりますのでご相談ください。また、このような高齢者施設におけるボランティアの役割がより向上することによって、多くのミドル・シニアも活躍の場が広がると考えます。

２　「福祉・健康」分野

分野	質問者	No.	質　問	回　答
高齢者福祉、障害者福祉、生活福祉	平井委員	5	集合住宅などでの社会生活に調和が保てない事例は、年配の場合は認知症、若年の場合は精神症が疑われる。その見極め・治療の段階で、精神科医の関与というお答えは戴いた。が、そのときその人の身内の存在が必要とならば、そういう人は得てして一人暮しの場合が少なくなく、身内も居ないか関係を断られているような事情をかかえ、その看護が無いとき、周囲の人々の困惑が続くこと計り知れず、その人々の基本的人権さえ侵されかねない。こういう場合の対処に、行政の智慧が発揮されないだろうか、考慮していただきたい。 　強烈な病いの罹患者には、本人の自覚の訴え云々ではなく、恐らく行政が率先して動くだろう。これはその破壊力の激烈なことによるもので、伝染ということのみでは、風邪ならせいぜいマスクの使用を奨励するくらいで終る。問題はその「周囲への影響の激烈さ」によるもので、前述の事例でも、「周囲への影響の甚大」なことは、周囲に暮す人びとの生存権を否定するほどである場合が少なくない。意に反して転居を強制されるなどである。 　こういう場合どうしたらいいか、大いに智慧を絞って、その地域に暮し続けてきた人びとが更に暮し続けられるように、そして何よりも本人にとって症状の緩和ないし治癒に向って歩まれるよう、行政が主導的配慮を為してしかるべき、と心得る。なに人もそこの地域に暮し続けられる環境を保全するよう施策を練ることこそ行政の眼目、わが日本国家の大方針、と心得る。平凡な人がそこに住み続けられないなら、身体に障碍をもつ者がその地域に住み続けるなどとても無理、ではないか。	協議会の場でもお答えいたしましたとおり、現在、多くの精神障害の方が地域で生活されているという状況であり、ほとんどの方が、区で実施する地域生活安定化支援事業を含めた様々な支援を通じ、自立した生活を送れていると考えています。しかしながら、一部の方が精神疾患の診断を受けていなかったり、家族などからの支援がないなどから、地域でトラブルが発生している事例も見受けられます。 区では、精神科の専門医師が「心の病気」について、本人、家族及び区民の方からの相談に応じるとともに、保健師も電話・面接で随時相談に対応しております。今後も、地域において問題となっているケースなどについて、ご家族や地域の方々と協力して、ご本人を適切な支援につなげるよう相談等に努めてまいります。

３　「コミュニティ・産業・文化」分野

分野	質問者	No.	質　問	回　答
地域コミュニティ	大矢委員	6	夏休みに町会開催の屋形船の乗るイベントに参加しました。おかげさまで子どもが近所の皆さんに声をかけて頂くことができ、参加して良かったと思っています。その一方で、同じマンションの人たちに話しますが、チラシを見ていないという人が多く、気づきにくいのかなと感じます。また、様々な行事を行っていることも屋形船で伺い、気をつけていると町の掲示板に載っていて気づくのですが、マンションの新しい入居者は町会の活動に気づきにくく、孤立している気もしております。	マンションでの町会活動のPRはマンションの掲示板への掲示や各戸配布など、個々での対応と聞いています。今回このような意見があったことを町会連合会にお知らせし、一材料として検討するとともに、地域活動センター広報紙の発行、地域を知るセミナーの開催を各地域活動センターで展開するなど、さまざまな広報媒体や機会を利用して、町会活動も含めた地域情報の発信を進めていきます。
	岡田委員	7	町会・自治会の加入促進 転入者、未加入者に対して直接会って防災などに対して町会加入の必要性を説き、加入促進を図るよう町会に働きかけることはできないでしょうか。	ご意見のとおり、町会・自治会では、防犯・防火・防災活動に力を入れております。その防災訓練の実施PRなどは、これまで町会掲示板などで行っています。さらに今後、地域活動センター広報紙の発行、地域を知るセミナーなど、さまざまな広報媒体や機会を利用して、防災課とも共働し、町会活動も含めた地域情報の発信を進めていきます。
	岡田委員	8	交流・活動の場の提供 提案型公募事業とはどんな内容でしょうか。	民間事業者、NPO、ボランティア活動団体等から、各々が持つ、企画力、創意工夫やノウハウを活かした、講座企画案を公募し、ふれあいサロン事業として実施しているものです。 平成24年度より、各年度提案された事業案の中から、3事業を選定、実施しております。26年度は「地域コミュニティの担い手養成講座」「地域の縁側サポーター養成講座」「映画人に学ぶ恋愛映画製作講座」を実施します。
	小林委員	9	「町会・自治会への加入促進」を図るための啓発手段として、昨年度の「今後の方向性」や（昨年度の所見）には、ＩＣＴの活用やホームページによる情報発信が方策として挙げられています。今年度にはポスター、パンフレット、配布、配架、区報への掲載等が示されていますが、ＩＣＴの活用やホームページが具体的に表記されていません。実際にその部分での支援はなされているのでしょうか。	町会ホームページは、独自で作成している町会もあります。総合的な案内については、現在、区のホームページでの活用の検討を進めています。

３　「コミュニティ・産業・文化」分野

分野	質問者	No.	質　問	回　答
地域コミュニティ	青木委員	10	指標②と③が達成しているのに一番重要な指標①の「町会・自治会の加入促進」が未達である。その目標値を下げずに達成する施策に努力すべきではないですか。	地域活動が活発に行われるには、まず参加の段階として地域や活動についての情報や考える機会があること、次に実際の交流・活動段階では場の提供、協働の体制等があることが考えられます。しかしながら、24年度目標値73％を目指してパンフレット配布などのPRを行ってきましたが、核家族化や単身世帯の増加、マンション等への新規転入の増などが地域コミュニティの希薄化の要因となり、町会・自治会加入減少となっています。今後は、これまでの活動に加え、地域や活動についての情報や考える機会として、地域活動センター広報紙の発行や、地域を知るセミナーの開催を９か所で展開をして加入促進に努めてまいりますが、24年度の現状から目標値を下方修正いたしました。
生涯学習	牛嶋委員	11	④　区立図書館利用者満足度の向上 近隣に図書館があれば満足度も公正に計れると思いますが文京区にも図書館空白地域があります。 前年の図書館サービス向上検討委員会においても議論されて空白地域に対して図書館の本の受け取りサービスも始まると聞いております。しかしながら根本的な解決策としては区立の図書館かそれに類するものがあって初めて公正に満足度の向上が計られると考えますが区のお考えをお示し下さい。	区立図書館は、区民の方が身近に図書館を利用できるよう、整備してまいりました。 本年5月に出された文京区立図書館サービス向上検討委員会報告書を踏まえ、平成27年度から向丘地域活動センターにおいて、予約資料の貸出・返却ができる取次業務を開始します。このことにより、利用者の利便性の向上が図られることとなります。 今後とも、区民サービスの向上に努めてまいります。
文化振興	小林委員	12	「森鴎外記念館の入館者満足度」が低い状況になっています。その要因は何でしょうか。【課題】の欄に、「満足度の高い事業を実施する必要があります。」と記載されていますが、具体的には、どのような事業が考えられるのでしょうか。	指標には達してはいないものの、満足度は7割を超えており、決して低い数値ではありません。指標に達しない要因としては自主事業（カフェ・ショップ等）の満足度が低いことが挙げられます。今後、より工夫した自主事業を行うとともに、来館者アンケートの要望を反映した展覧会・講演会等をあわせて開催してまいります。
スポーツ振興	青木委員	13	指標①の目標値の見直しが必要である。25年度で28年度目標値を大幅に達成した現状を踏まえて目標値の見直しが必要ではないですか？	平成25年4月に新総合体育館が開館し、場所や施設の利便性が向上したことにより、当初の予想を大幅に超える利用者実績となっています。なお、基本構想実施計画において、特に必要が生じた場合には、計画期間中においても必要な見直しを行うことがあるとしていますが、ご指摘の指標については、社会情勢の変化によるものとするまでには至らないと判断しております。

３　「コミュニティ・産業・文化」分野

分野	質問者	No.	質　問	回　答
観光	青木委員	14	指標②と③の目標値の見直しが必要である。25年度で28年度目標値を大幅に達成した現状を踏まえて目標値の見直しが必要ではないですか？	②観光インフォメーションの相談件数は、旅番組や情報誌などメディアに取り上げられた直後に一時的に相談件数が増加する傾向があるため、一概に右肩上がりの傾向が続くとも言い難い状況があります。しかしながら25階展望ラウンジの観光客誘致手段を工夫するなど1階インフォメーションの来客数の増加につなげるための方策も引き続き実施してまいります。 ③観光ガイド事業は、開始から約3年経過し、ガイド事業の運営が安定してきたことなどが実績の増につながっています。具体的には個人ガイドのほか区報やまつり会場で募集を行うガイドツアーを月1回程度の開催、また25年度は国体応援ガイドツアーなどの特別ツアーなども実施し、好評を博しています。 なお、基本構想実施計画において、特に必要が生じた場合には、計画期間中においても必要な見直しを行うことがあるとしていますが、ご指摘の指標については、社会情勢の変化によるものとするまでには至らないと判断しております。
	小林委員	15	鳩山会館の内部が朝の連続テレビ小説「花子とアン」の撮影に使用されました。ここは、民間の観光施設ですが、区有施設等に含まれ、「フイルムコミッション事業における相談・連携件数」の数値に含まれているのでしょうか。	鳩山会館は、独自に撮影・取材対応を行っております。御質問の連続テレビ小説については区に対しての相談はございませんでしたので、当該数値には含まれておりません。区に対し民間施設についての撮影相談があった場合には、連絡先等を伝えるなどし、直接相談をしていただくようお伝えしているところですが、その場合は数値に含みます。
交流	大矢委員	16	小学校で英語教育が少しずつ始まっていますが、帰国子女や家庭で英語を使用している生徒の独壇場になってしまい、その生徒より自分はできないという劣等感で逆に英語嫌いが増えているとあちこちから聞きます。 また英語は手段であって目的ではないというように、外国人とこんな話をしたいという気持ちがやる気になるのではないかという意見もあり、文京区という大学そして留学生の多い土地柄を利用して、留学生との交流の橋渡しを区でできたらお願い致します。	東京大学が目白台に国際宿舎を計画しており、ますます文京区の留学生率は上がる見込みです。それも含めて、各大学との連携を試みていきたいと考えています。英語に限らず、豊かな国際感覚が身につくようにも配慮してまいります。 また、交流については、全中学校において国際理解教室を実施し、直接諸外国の方々と触れ合う場を設け、生徒の望ましい国際感覚の育成に努めているところです。英語の学習においてもＡＬＴを派遣し、ネイティブな発音や会話に触れる機会を設けております。 今後もこれらの教育施策を継続することにより、児童・生徒の自ら外国の方々と関わる意欲を向上させ、国際感覚を豊かにしてまいります。

４　「まちづくり・環境」分野

分野	質問者	No.	質　問	回　答
環境保護	小林委員	17	「区の事務事業における二酸化炭素排出指数」が１００を超えてしまい、２６年度以降に示された指標に、実績を近づけるのは難しいと考えられます。【課題】に、「運用面での改善」と「設備面の対策」が挙げられていますが、今後に向けて、具体的にどのような対応が考えられるのでしょうか。	ご指摘のとおり、２６年度以降の指標の達成は難しい状況ですが、各施設の省エネ診断を踏まえ作成した施設ごとの設備管理の運用マニュアルである「管理標準」の的確な実施と見直し、職員の省エネへの率先行動等を啓発し、運用面での改善を図ってまいります。 また、設備については、施設及び設備の改修時には、省エネ機器の導入を進め、エネルギー使用量の削減に努めてまいります。 なお、本指標の基となる「文京区役所地球温暖化対策実行計画」については、現在見直しを進めている「文京区地球温暖化対策地域推進計画」の内容を踏まえ、平成２７年度上半期中に改定するため、目標指標の見直しを予定しています。
災害対策	武智委員	18	前々回の協議会の際に、防災無線の試験放送をされるとのお話がありましたが、実施後の検証はされましたか？ 私自身は、どのような放送があったかは聞いておりませんが、まわりの方からの話を伺うと、隣接する荒川区の放送は聞き取れるが、何を言っているのか分からなかった…という事を耳にしました。マンション等の高層建物の影響もあるかと思いますが、聞き取れる場所、聞き取れない場所があっては、本当に災害があった時に困ります。 また、日頃から放送に慣れる意味でも、定期的若しくは毎日決まった時間に、近隣区同様に放送を検討すべきと思いますが、如何でしょうか？	平成２６年度文京区防災フェスタにおいて、区内全域に防災行政無線を使った一斉放送を行いました。実施後、区民から電話やメールにてご意見・ご感想をいただき、可能な限り聞こえづらい地域等の把握を行いました。この結果や平成２５年度実施の防災行政無線の設置環境及び音響伝達エリア調査の結果を踏まえ、防災行政無線の増設を進めているところです。 また、文京区では、災害時のみ使用することで緊急性を強調し、伝達能力の向上を図るよう考えております。
	小林委員	19	「地域防災訓練の実施件数」少なくなってしまいました。【取組状況・成果】や【課題】の欄に記載されている内容からは活発に活動がなされている状況がうかがえますが、減少してしまった要因は何でしょうか。	自主的な防災訓練（避難所運営訓練・町会等区民防災組織・中高層共同住宅等）の内、中高層共同住宅等の訓練が想定していた数値より少なかったことが要因です。

４　「まちづくり・環境」分野

分野	質問者	No.	質　問	回　答
防犯・安全対策	牛嶋委員	20	文京区には防犯等安心情報がありメールにて日々、情報が発信されている所です。 しかしながら、発信のスピードが遅く、概ね事件発生後の翌日配信が多いと聞いております。 本来ならばスピード感を持って発信することによって、事前の防犯に大いに役立つものと思いますが、今後の情報発信のあり方について区のお考えをお示し下さい。 また、情報発信が早ければ、このサービスの利用者が増え防犯に貢献するものと思います。	防犯等安心情報につきましては、警視庁の情報発表後、直ちに所轄の警察署に連絡し、内容を確認の上、必要な情報を配信しております。今後も、引き続き可能な限り、迅速かつ正確な情報の配信を進めてまいります。
	大矢委員	21	いつも不審者情報をありがとうございます。 その後、どうなったのかしら？「つかまった、おさまった」等の情報もほしいね、という声があります。可能であればそちらの情報もお願い致します。 例）窪町小向かいのファミマに包丁を持った男の人が侵入したので周囲は気をつけるように、と連絡があったが、その後、見つかったのか、解決したのか気になる。	防犯等安心情報につきましては、継続して所轄の警察署に状況を確認することなどにより、経過情報が発表された際には配信を行ってまいります。今後も、引き続き可能な限り、迅速かつ正確な情報の配信を進めてまいります。
	武智委員	22	振り込め詐欺等の注意喚起、自転車事故の減少に向けたチラシの配布を、警察署の方と月１回行っていますが、限られた時間、限られた地域での活動の為、効果がどれだけあるのか、最近虚しさを感じます…。普段、出歩く事の少ない独り暮らしのお年寄りへの注意喚起、自転車ルールを守らない守れない人達への意識改革を促す為にも、防災無線を利用した一斉放送が有効であると思います。また、子ども達の帰宅を促し、周囲の大人の意識を子ども達へ向けさせ、犯罪から守る意味で「夕焼け小焼け」等の定時放送も有効であると思いますが、如何でしょうか？	文京区では、防災行政無線は災害時のみ使用することで緊急性を強調し、伝達能力の向上を図るよう考えております。

４　「まちづくり・環境」分野

分野	質問者	No.	質　問	回　答
防犯・安全対策	杉本委員	23	白山通りに面したところに小さな神社・公園があります。近くは２４時間営業のコンビニが５メートル以内に二軒あり、２４時間営業のドンキホーテも開店しました。公園で深夜まで若者が飲食をして遊んでいます。 公園の照明をもっと明るく事故のないようにしていただきたい。	ご指摘の春日園児童遊園は、公園灯が２基あり、公園等に必要な明るさの基準は満たしている状況です。また、過度に照明を明るくすることは、近隣住居への影響や樹木等への影響も考慮する必要があり困難です。そのため、樹木を剪定し見通しを良くして全体の明るさの向上を図るとともに、春日園児童遊園に対する夜間巡回も強化してまいります。

５　「行財政運営」分野

分野	質問者	No.	質　問	回　答
行財政運営	牛嶋委員	24	今後の方向性の記載の中に受益者負担の適正化の検討とあります。 0%25%50%100%のように特に根拠のない負担のあり方ではなく、今後は根拠のある負担のあり方に改める様にし、更なる負担の公平感を保つ必要があると考えます。 また、幼稚園などの保育料なども収入に応じた負担に切り替えていくなど低所得者・多子世帯に対する配慮も必要かと考えます。区の見解をお聞かせ下さい。	受益者負担の適正化については、区が提供するサービスに必要なコストは、区民の方々が納める税金等によって、区民全体で賄っているという考えのもと、特定の行政サービスを利用し、利益を受ける場合には、受益者としてコストの一部を負担していただくことで、サービスを利用しない方との間の負担の公平を図ることを基本的考えとしています。 公平性の観点からすると、利用者負担割合１００％を基本とするものですが、公共性、必需性の高いものについて、区の政策的判断により５０％、２５％、０％へ減じたものです。 また、保育料の収入に応じた負担への切り替えについてですが、低所得者及び多子世帯への保育料減免制度を導入しており、低所得者等に対する配慮を行っているところです。